

(活動報告書様式)

団体名	山形大学 SCITA センター学生スタッフ		
事業名	山形に科学を楽しむ人材を！		
助成事業区分	協働助成事業（一般型）【県政課題：科学との触れ合いの場の提供による子どもたちの「科学する心」の醸成】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	483,178 円
		うち助成金額	483,178 円



SCITA 秋の科学実験祭りでの様子

■ 事業目的

山形県産業における人材不足が深刻化している中、科学技術分野を担う人材の育成が必要である。そのため、子どもたちが科学に触れやすい環境作りを進める。科学体験イベントを開催、出展することで子どもたちの科学への興味、関心を深めることを目的とする。

■ 実施内容

・SCITA 秋の科学実験まつり

10月10日にイオンモール天童2階イオンホールで、やまがた『科学の花咲く』プロジェクト内の団体と協力し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、科学体験イベントを開催した。ブースや科学展示を実施することで子どもたちが科学に触れる場を提供できた。また、普段の実験説明のほかに、わかりやすい原理説明キットを作成し、展示を行った。

・SCITA 冬のオンライン科学体験教室

12月12日からYouTubeにて実施。新型コロナウイルス感染症

などの影響により、予定を変更し、オンラインイベントを実施した。子どもたちが家で科学体験を楽しめるよう、計7本の実験動画を配信した。動画は子どもだけでなく、家族で楽しめるものとなっているので、今までの科学体験とは異なるものが提供できた。さらに、山形県内の希望者に無料で実験キットを郵送し、より積極的に科学に触れられるよう工夫した。

■ 事業の成果および今後の展望

・事業の成果

幼いうちから科学に触れることで、子どもたちの興味関心を育み山形県の科学技術、産業発展を担う人材育成の一助となった。SCITA 秋の科学実験まつりでは、大型商業施設でのイベント実施により多くの方々に科学体験する場を提供できた。また、新型コロナウイルス感染症の影響下でのなかなかない科学体験の機会により、親子ともに楽しんでいただき、魅力を伝えられた。これにより子どもたちが科学に触れやすい環境作りと世代間交流の促

進になった。SCITA 冬のオンライン科学体験教室では、子どもたちに家にいながら気軽に科学の魅力を感じてもらえた。また家で大人と一緒にいるため、子供が科学と触れ合う環境づくりの促進となった。より一層 SCITA センターを知ってもらい、今後の科学体験イベントへの参加を促すきっかけとした。たくさんの感想をいただき、成果があったと考える。

・今後の展望

本事業を通して、地域の他のボランティア団体との関係を深め、学生スタッフのスキル向上に努め、継続的な支援を行う予定だ。リピーターを獲得し、より多くの方に科学の面白さを深く伝えたい。また、オンラインイベントの継続も視野に入れて今後の活動を行う予定としている。

山形大学 SCITA センター学生スタッフ
Twitter・Instagram・LINE もやっている
ので登録下さい。
<http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/>